

2級 (H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
よ	あいぞ	はば	うずしお	きわ	ふさ	いろど	あきら	うるわ	あば	そうへき	ゆううつ	ゆせい	ふつぎよう	おんねん	ぐろう	えっけん	てきぎ	ごばん	ほうやく	けっしゅつ	てっしょう	かいたい	らんそう	ふじよ	きようけん	いん	さしゅ	きえ	せきじつ

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	イ	エ	ウ	エ	オ	イ	ア

(二) 部首 (10) 1×10

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
ウ	ア	エ	ク	キ	意味	斬新	換骨	活殺	方底	安寧	割拠	無縫	辛苦	卓説	乱麻	書き取り

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

(四) 四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
犯	冒	献上	謙譲	断崖	弾劾	近郊	均衡	登記	投棄

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
酌量	造詣	流浪	伯仲	逝去	懲罰	答申	酷寒	曖昧	唯一

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

5	4	3	2	1
莊嚴	包括	控除	元旦	防疫

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
培う	携え	縛ら	損ねる	羨ましく

(十) 漢字と送りがな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
作	看	領	引	足	誤
搾	鑑	僚	因	息	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
逸	尽	猿	尻込	担	奏	傍	芳	手袋	慈	旨	飢	雲泥	湖沼	輕蔑	寡聞	煮沸	親戚	貴賓	年俸

準2級 (H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一)
か	も	こ	は	わ	た	ち	ほ	よ	す	て	ち	さ	き	せ	ほ	ろ	だ	よ	そ	せ	ま	が	ち	こ	ぎ	こ	す	せ	ぶ	読
ま		ば	さ	ず		ま	の	い		い	よう	ん	う	ん	ん	け	り	れ	う	ん	ん	ん	せ	く	たい	る	う	い	ん	み
もと				ら		な	お			かん	かい	か	しん	と	そう	けん	よく	い	さく	かい	べん	ん	せつ	ひん	い	けい	やく	けん	(30)	
1 × 30																														

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 熟語の構成 (20)
エ	ア	オ	イ	エ	ウ	ウ	ア	イ	ウ	
2 × 10										

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 部 首 (10)
𠂇	𠂇	目	衣	車	手	斤	殳	口		
1 × 10										

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
カ	ケ	ウ	エ	イ	意味	条	兼	徹	混	驚	鬼	若	罰	胆	白	書き取り
(20)						(30)										
2×5						2×10										

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
煮	似	韻	隠	鈍	曇	酌	借	賠	媒
(20)									
2×10									

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
妥	安	拔	道	基	威	暗	哀	融	汚
協	眠	群	徳	盤	圧	愚	悼	解	濁
(20)									
2×10									

5	4	3	2	1
督促	躍進	噴煙	打撲	栓
(50)				
2×25				

5	4	3	2	1
及ぼし	尽きる	臭い	遂げる	甘やかさ
(10)				
2×5				

5	4	3	2	1	
従	担	境	例	位	誤
渋	探	況	励	囿	正
(10)					
2×5					

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
冠	弾	沸	丈	堀	擦	猫	潤	涼	盲導犬	湿原	余裕	捕獲	漸次	粒子	静粛	駐車	寿命	挑戦	歌謡

(下へつづく)

第3回 日本漢字能力検定 標準解答

（公財）日本漢字能力検定協会

3
級
(H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
お	つ	く	あ	お	ゆ	お	は	も	お	れ	ふ	し	か	と	め	そ	け	い	し	じ	ち	さ	し	け	さ	お	え	そ	み	(30)
さ	く	わ	さ	お		ろ	た			い	に	ょう	く	く	い	ち	い	ろ	せ	ゅん	ょう	く	けん	く	ん	つ	ら	う	よう	

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 同音・同訓異字 (30)
ア	エ	ウ	オ	ウ	イ	ア	エ	イ	エ	イ	オ	オ	イ	ウ	
揚	明	飽	領	陵	糧	掃	遭	双	斗	途	塗	硬	抗	坑	

2 × 15

					(三) 漢字識別
					(10)
5	4	3	2	1	
力	ウ	コ	才	ク	
排	潤	誘	託	錯	

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 熟語の構成 (20)
ウ	ア	エ	オ	ア	イ	ア	ウ	イ	エ	

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五)
工 戸	ウ 貝	イ 欠	ア 土	ウ 厂	ア サ	工 口	工 革	イ 之	ウ 爰	部 首
										(10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(六) 対義語・類義語 (20)
腕	定	野	勉	魔	難	縛	落	悲	進	

2 × 10

5	4	3	2	1	(七) 漢字と送りがない (10)
掲 げる	退 く	含 ん	速 やかに	悟 る	

2 × 5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(ハ) 四字熟語 (20)
貧乏	回生	円熟	千秋	天外	公私	大胆	自暴	電光	不眠	

2 × 10

5	4	3	2	1		(九) 誤字訂正
財	事	過	表	後	誤	
濟	持	加	評	護	正	(10)

2 × 5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(十)
補	姫	雇	勢	吹	冠	疲	切符	開催	卓球	内紛	点滅	本望	獲得	送迎	発酵	西欧	粘土	答弁	漂着	書き取り
																				(40)

4級 (H)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
しばふ	にぶ	かげ	くさ	に	さ	あつか	きり	ふ	たたか	めいわく	らんかん	すんか	かんるい	ほうがん	ようえき	あくしゅ	はんも	こうはい	かいご	しゅにく	けんじ	ちようば	はもん	しと	みやくらく	きばつ	せいじゃく	ていはく	しんちよう

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	エ	オ	ウ	イ	イ	エ	オ	ア	ウ	イ	エ	ア	オ
挙	在	荒	緯	威	依	桃	稲	倒	尋	陣	尽	疲	否	彼

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
キ	ウ	イ	オ	ク
離	業	網	端	及

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	イ	エ	イ	ア	エ	ウ	エ
見	糸	雨	走	皿	日	戈	尸	貝	艹

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	ア	ウ	オ	エ	ウ	ア	イ	エ

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

5	4	3	2	1
覚	敬	与	軽	刺
める	わ	える	やかに	さる

(七) 漢字と送りがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
誉	弁	測	準	模	到	継	固	易	鳴

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
付	集	辺	位	全	誤
負	衆	片	圀	善	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
息	夫	雷	状	専	危	舞	路	得	旧

(八) 四字熟語 (20) 2×10

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
群	抱	沼	忙	裁	汚	峠	俵	信頼	死守	相互	綿密	起床	弾圧	清潔	色彩	沈黙	比較	上旬	砂丘

(十) 書き取り (40) 2×20

第3回 日本漢字能力検定 標準解答

(公財) 日本漢字能力検定協会

5級 (H)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
わ	ち	い	ち	よう	し	の	たい	ふ	わ	い	き	ち	そう	けい	わ	く	たん	す	と
れ	ょう	た	ぢ	う	ょう	う	い	る	か		ぬ	い	せ	とう	け		じ		ど
1×20																			

(一) 読み (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
4	2	12	8	7	4	6	1	8	5	イ	え	ウ	き	ケ	く	ア	こ	カ	お
1×10										1×10									

(三) 画数(算用数字) (10)

(二) 部首と部首名記号 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
イ	ウ	ア	エ	ア	ウ	エ	ア	ウ	イ	敬	従	垂	忘	痛	う	える	らす	れる	い
2×10										2×5									

(五) 音と訓(記号) (20)

(四) 漢字と送りかなひらがな (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
展	翌	宣	著	割	可	異	干	臨	模	存	延	有	暖	針	担	吸	論	座	宇
2×10										2×10									

(七) 対義語類義語(一字) (20)

(六) 四字の熟語(一字) (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
努	勤	樹	授	補	保	腹	復	訪	宝	イ	エ	ウ	ア	ウ	イ	ア	ウ	イ	エ	コ	カ	ク	イ	ケ
2×10										2×10										2×5				

(十) 同じ読み漢字 (20)

(九) 熟語の構成(記号) (20)

(八) 熟語作り(記号) (10)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
善	除	拝	装置	巖	株	価値	密度	推進	泉	石	拡張	対策	胸	憲	専	私	盛	並	窓
2×20																			

(十一) 漢字 (40)

6級 (H)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
だ ん け つ	ひ た い	か ま	も う	じ ゅ ぎ ょ う	し ょ ぞ く	け い かい	ぶ ん か ざ い	こ こ ろ ざ	ふ た た	き ん と う	か か く	せ い け つ	え だ	か ん そ く	か こ	し り ょ う	ぬ の	に	ふ く し ょ う

(一) 読み (20)

1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 部首名と部首 (10)	5	4	3	2	1	(二) 漢字と送りかなひらがな (10)
才	イ	之	ケ	广	ウ	力	エ	日	コ		豊 かな	営 む	絶 える	迷 う	久 しく	

1×10

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) じゅく語の構成記号 (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 画数(算用数字) (10)
イ	ウ	エ	ア	イ	ア	ウ	ア	エ	イ		8	6	15	12	14	9	13	4	7	5	

2×10

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(七) 対義語類義語(一字) (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(六) 三字のじゅく語(一字) (20)
備	在	輸	術	保	略	破	断	質	非		織	救	築	永	謝	夢	限	液	逆	可	

2×10

2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1	(十) 同じ読みの漢字 (18)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(九) 音と訓(記号) (20)	6	5	4	3	2	1	(八) じゅく語作り(記号) (12)
師	支	飼	易	益	暑	厚	余	予		ア	イ	ア	ウ	エ	イ	エ	ウ	ア	ウ		イ	ウ	サ	ケ	カ	ク	

2×9

2×10

2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(十一) 漢字 (40)
仏	喜	銀 河	独 唱	税 金	張	応	酸 素	墓	編	示	貸	責 任	禁 止	耕	燃	増	銅	校 舎	弁 当	

2×20

7級 (H)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
つ	とくべつ	だいじん	ほうち	あらそ	つた	はなたば	つと	ねったいぎよ	あ	とやまけん	そうこ	あんがい	せいしよ	なかよ	かだい	きせつ	て	かんかく	つら	(20)

1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 漢字えらび(記号)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 読み
ア	ウ	イ	ウ	ア	ウ	イ	イ	ウ	ア	(20)	し	あんせい	か	こてい	あらた	かいせい	たよ	べんり	いさ	ゆうき	(10)

2×10

1×10

5	4	3	2	1	(六) 対義語(一字)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) 音読み・訓読み(記号)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 画数(算用数字)
失	卒	康	差	陸	(10)	イ	ア	イ	ア	イ	ア	ア	ア	イ	イ	(20)	総画数					何画目					(10)
					2×5												18	13	10	9	19	6	7	10	8	3	1×10

ウ				イ			ア			(ハ) 同じ部首の漢字	7	6	5	4	3	2	1	(七) 漢字と送りかな(ひらがな)
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(20)	祝	冷	必	清	試	戦	挙	(14)
泣	満	浅	漁	周	器	司	芽	苦	芸	2×10	う	える	ず	い	みる	う	げる	

2×10

2×7

五		四		三		二		一		(十) 同じ読み(記号)	8	7	6	5	4	3	2	1	(九) 同じ読みの漢字
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(20)	標	票	街	害	底	低	位	衣	(16)
ウ	エ	ア	オ	エ	イ	オ	イ	ア	ウ	2×10									2×8

2×10

2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(十一) 漢字
灯	旗	功	競	加	観	副	焼	札	続	愛	願	典	笑	借	令	博	飛	極	松	(40)

2×20

(一) つぎの―線の漢字の読みがなを―線の右に書きなさい。

(30) 1×30

- 公園で赤い木の実を見つけた。
- わり算の式を立てて答えを出す。
- クラスで話し合って係を決めた。
- 学級文庫の本を二さつかりた。
- ねこが前足で毛糸の玉を転がす。
- グループごとに意見をまとめた。
- 社会科の時間に農園を見学した。
- リレーで次の走者にバトンをわたす。
- 温室に入ると暑くてあせが出た。
- アンケートの問いに答える。
- 友だちが投げたボールを受ける。
- バスはまもなく終点に着く。
- おばあさんからお守りをもらった。
- 畑でじゃがいもを育てる。
- 夜間に線路の工事が行われた。
- 二けたの数のかけ算を筆算でする。
- やかんの湯がふつとうする。
- マスクで鼻や口をおおう。
- スキーに行く日を相談する。
- 学校の池にうすい氷がはった。

酒 飲 横 悲 命
練 発 助 油 業

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(10) 1×10

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいの読みのことばにしなさい。

(10) 2×5

一部 ― (全)部
さんせい ― 反(対)
むかえる ― (送)る
負ける ― (勝)つ
もやす ― (消)す

(四) おなじなかなの漢字を○の中に書きなさい。

(20) 2×10

しめす(ネ) 福の神 ・ お礼
運転手 ・ 進歩
かぜ薬 ・ 荷物
こころ 急ぎ足 ・ 感想
にんべん 代表者 ・ 五倍

―うらへつづく―

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

(五) つぎの(一) (二)の中に漢字を書きなさい。

(20) 2×10

漢字を正しく書く(練)(習)をする。
九(州)に住むおじがたずねて来た。
駅の近くにゆうびん(局)がある。
お楽しみ会で歌う(曲)をえらんだ。
兄は(短)時間で朝食をすませた。
汽車が石(炭)をもちよって走る。
月曜日に図書委(員)会が開かれる。
弟はとなり町の病(院)で生まれた。
自由研(究)で星のかんさつをした。
野(球)の試合でホームランを打った。
つぎの―線のカタカナを○の中の漢字を(10) 2×5
おくりがな(ひらがな)で○の中に書きなさい。
あれい(大) オオキイ花がさく。 大きい
1 味 あげたての天ぷらをアジワウ。
2 苦 高いねつが出て、とてもクルシイ。
3 化 きつねが子どもにバケル話を聞いた。
4 泳 銀色のいわしがむれになってオヨグ。
5 重 平たい皿を三まいカサネル。
重ねる

(七) つぎの―線の漢字の読みがなを―線の右に書きなさい。

(10) 1×10

冬休みに北海道を旅行する。
旅の思い出に絵はがきを買う。
一年生が(列)になって歩道橋をわたる。
谷川に木の橋がかかっている。
上等なチヨコレートをもらった。
リボンを等しい長さに切る。
教科書にのっている詩を暗記する。
雨雲におおわれて空が暗くなった。
根気よく細かい作業をつづける。
寺の屋根にはとがとんできた。
(八) つぎの○の中に漢字を書きなさい。
1 庭 て作った雪だるまは太陽の
光が当たってとけてしまった。
2 算数のテストは文章を読んで
答える問題ばかりだった。
4 遊びを教えてもらう。
10 チーターは動物の中で
走るのがいちばん速い。
おわり

3 二年前に買ったえん筆けずりの
調子が悪くなってきた。
4 ろう下で拾ったハンカチを
落とし主にとどけた。
5 青と黄色の絵の具をまぜると
緑色になる。
6 山登りのどちゅう、遠くに
美しい湖が見えた。
7 大きくなったら世界
国々を見て回りたい。
8 息をふきかけて、寒さで
かじかんだ指を温める。
9 地区のお年よりに、昔の
遊びを教えてもらう。
おわり

(一) つぎの文をよんで、——せんのは漢字の(22)1×22
よみがなを——せんの中にききなさい。

(二) つぎの漢字のふたひとはなんぼんに
かきなさい。○の中にう字をかきなさい。

(五) つぎの文をよんで、——せんのは漢字の(10)1×10
よみがなを——せんの中にききなさい。

(六) つぎの漢字のひらがなを漢字で
はうのばんごうに○をつけてください。正しい
① 少ない ② 合計 ③ 合計 ④ 合計 ⑤ 合計 ⑥ 合計 ⑦ 合計 ⑧ 合計 ⑨ 合計 ⑩ 合計 ⑪ 合計 ⑫ 合計 ⑬ 合計 ⑭ 合計 ⑮ 合計 ⑯ 合計 ⑰ 合計 ⑱ 合計 ⑲ 合計 ⑳ 合計 ㉑ 合計 ㉒ 合計 ㉓ 合計 ㉔ 合計 ㉕ 合計 ㉖ 合計 ㉗ 合計 ㉘ 合計 ㉙ 合計 ㉚ 合計 ㉛ 合計 ㉜ 合計 ㉝ 合計 ㉞ 合計 ㉟ 合計 ㊱ 合計 ㊲ 合計 ㊳ 合計 ㊴ 合計 ㊵ 合計 ㊶ 合計 ㊷ 合計 ㊸ 合計 ㊹ 合計 ㊺ 合計 ㊻ 合計 ㊼ 合計 ㊽ 合計 ㊾ 合計 ㊿ 合計

(八) つぎの漢字を漢字で
かきなさい。○の中に漢字をかきなさい。

(九) つぎの文をよんで、——せんのは漢字の(50)2×25
よみがなを——せんの中にききなさい。

(十) つぎの漢字を漢字で
かきなさい。○の中に漢字をかきなさい。

1 学校から帰るときに川ぞいの
通りで、弟のようち園の
バスが走っているのを見た。
2 話し合いてしまったことを
先生が黒板に書いた。
3 大工さんが、となりの家の
やねを直している。
4 朝早くおきて、池のまわりを
さん歩した。
5 雲一つない青空を、鳥が羽を
広げてゆったりとんでいる。
6 メロンをほうちようで半分
切った。
7 夜おそくにトイレに行くとき
こわかったので、お父さんに
ついてきてもらった。

矢 回 考 曜 谷
3 5 4 8 4
半 秋 汽 毎 歌
5 9 7 6 14
音読 …… おんどく
晴天 …… せい てん
草原 …… く さ は ら
土星 …… ど せい
四頭 …… よん どう
市 やくしよ 心 ぱい
つな引き 手作り

新しい自てん車にのる。
お正月に新年のあいさつをした。
あすは午前九時に出かける。
学校の前にパンやさんがある。
野きゅうのしあいがはじまった。
野はらに花がさいている。
今日はろう下のそうじ当番だ。
まどのまん中に矢が当たった。
王さまが馬車からおりてきた。
子馬のせなかをそとなでた。

地めん・すな場
山道・近い
姉さん・妹
東京・交番
何回・体いく
村人・山林
はく線 ① 白線 ② 日線
もちいる ① 角いる ② 用いる
牛にく ① 牛肉 ② 牛内
五まん円 ① 五万円 ② 五方円
こう計 ① 合計 ② 合計
すくない ① 少ない ② 小ない

貝…魚 たずねる…答える
石…岩 すすむ…止まる
子…親 話す…聞く
山…海 くらい…明るい
冬…夏 強い…弱い
きのう、母のふる里で
雪がふったらしい。
店の入り口で、赤い
風船をもらった。
兄が茶色のおり紙で
かぶと虫をおってくれた。

教室の南がわの
まどから太ようの
光がさしこむ。
かけ算の九九が
ようやく、すらすらと
言えるようになった。
図書かんで絵本を
二さつかりた。
外国から多くの人が
古い寺を見に来る。
休みの日、昼ごはんを
食べた後、家ぞくて
楽しくおしゃべりをした。

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみをかきなさい。

1 タがた、犬をつれて

川かわのそばをさんぽした。

2 となり町まちのみにせで青い

セーターセーターをかった。

3 林はやしでどんぐりを五こ

ひろって竹かこの中なかに

入れた。

4 子ねここの名なまえを

かぞくでかんがえた。

5 えんぴつを正ただしくもって

ていねいに字じをかく。

玉 花 金 火 円 本
4 5 7 2 1 3

草 赤 気 町 夕 目
9 7 6 7 3 5

2 つぎのかん字のふいところ
なんばんめにかきますか。○の
なかにすう字をかきなさい。

よんだ。

こえに出だして三さんかい

7 きようかしよの文ぶんしようを

上うへにうかんでいる。

6 まるいお月つきさまが森もりの

3 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみをかきなさい。

かえるがーびきとびはねた。

やきいもを一つたべた。

日にちよう日にちにとしよかんにく。

あさ日ひがのぼってきた。

おつりは十じゅう円えんだった。

へやに円まるいテーブルをいた。

でん車くるまのまどからうみを見る。

おかあさんが車くるまをうんでんする。

——うらへつづく——

4 つぎのことはのよみがなてたしい
ほうのばんごうに○をつけなさい。

六むこ ①ろつこ ②ろつこ

正せい月げつ ①しよがつ ②しよがつ

百ひゃく人にん ①ひやくにん ②ひやくにん

王おう子じ ①おうぢ ②おうじ

名な犬いぬ ①めいけん ②めえけん

5 ①にひらがなを一字かいてつぎの
ことばのよみをこたえなさい。

ちよ金きん…ちよきん

二つ…ふたつ

花火…はなび

お年玉…おとしだま

五日…いつか

6 つぎの□のなかにかん字をかきなさい。

男おんな…女おんな

上した…下した

耳みみ…口くち

百せん…千せん

天そら…空そら

草くさ…木き

たに…山やま

すな…石いし

すわる…立た

小さい…大おほ

1 きのお、ひる休やすみに

2 先生せんせいと花だんの

3 土つちをたがやした。

4 四よじかん目の音おんがくて

けんぱんハーモニカの

れんしゅうをした。

3 雨あめがたくんふって

7 学がく校こうのグラウンドに

8 水みずたまりができた。

4 サッカーゴールの左ひだりの

11 ほうをねらって、

12 右みぎ足あしで力ちからいっぱい

13 ボールをけた。

5 七ななつの貝かいがらを

17 白しろい糸いとでつないで

6 村むらの田たんぼには

ゆきがのこっていた。

——おわり——

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。